

副市長を置き、地方分権の進展により多様化する行政需要への的確な対応に努めてまいります。

私は魅力ある地域の創造の礎となる「地域の力」の向上を図り、本市の個性であり、全国に誇ることのできる「環境の力」「健康の力」を磨き上げ、これらを生かした魅力あふれるまちづくりを進めるために、

1. 人と自然にやさしい基盤と環境を育てます。
2. 郷土に誇りを持ち、明日のうるま市を支える人を育てます。
3. うるま市の魅力を生かした産業を育てます。
4. 誰もが健康で、互いに助け合える地域を育てます。
5. 市民とともに考え、築き上げるまちを育てます。

の5つの基本方針を掲げ、さらに「健康・長寿を創造し、いやしのまちづくり」をテーマに、諸政策の推進に努めてまいります。

また、その諸施策の推進にあたっては、行政の不断の努力はもとより、市民と行政のパートナーシップのもと、協働によるまちづくりを進めることが何より重要であると考えております。

以上、私の市政に対する基本的な方針を申し述べました。

次に、平成19年度予算につきましてご説明いたします。

うるま市の平成19年度予算編成は、「うるま市行政改革大綱」および実施計画に基づき、各部署が自主的に行政改革を実施し、予算を編成すべく「枠配分方式による予算編成」を導入し、限られた財源の中で一般行政経費を抑制するとともに、政策的経費も可能な限り圧縮を図るべく、予算の編成に努めたところであります。

その結果、平成19年度のうるま市一般会計予算は、427億9,886万7千円となり、前年度に比べ2.8%の増加となっております。

また、各特別会計予算は、国民健康保険が153億3,869万3千円、老人保健が79億7,179万5千円、介護保険が57億8,502万6千円、公共下水道事業が37億2,552万2千円、農業集落排水事業が1,750万6千円で、公営企業の水道事業会計予算は、34億3,038万9千円となっております。

従って、うるま市の一般会計、特別会計および水道事業会計を合わせた平成19年度予算規模は、

790億6,779万8千円であります。

なお、懸案になっておりました合併補助金につきましては、5億2,800万円を補正予算として本定例会に提案しており、

- ・庁舎設備改修工事
- ・証明書自動交付機購入事業
- ・緊急通信指令施設改修事業
- ・スクールバス購入事業
- ・道路台帳整備事業
- ・マイクロバス等購入事業
- ・公有財産管理システム統合事業
- ・情報公開・個人情報保護制度充実事業
- ・給食センター付帯施設整備事業

の9事業を予定しております。

次に、平成19年度における主要施策の概要について、総合計画の体系を基本にご説明申し上げます。

### 1. 人と自然にやさしい基盤と環境を育てます

**本** 市の豊かな自然環境を保全するとともに、地域の個性を生かしたまちづくりを推進する事は、

重要であると考えております。

また、安全で快適な市民生活を継続的に確保するため、都市基盤の整

備や適切な維持管理を進めてまいります。

平成18年度に策定されました「うるま市総合計画」を踏まえ、本市の土地利用の指針となります。「うるま市国土利用計画」の策定を進めてまいります。

離島・辺地地域として指定されている津堅島の振興につきましては、地域の生活・生産基盤施設を整備し、住民の生活環境の安定を図るため、「辺地総合整備計画」を策定いたします。



多くの観光客が訪れるあやはし海中道路と周辺離島 (写真提供：航空写真家寺下昌信氏)

また、離島の地理的不利性を克服する「離島ブロードバンド環境整備促進事業」を行い、津堅島住民への